

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	秋 田 県
-------	-------

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	森吉町立米内沢小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	2	1	1	2	9	18
児童数	29	36	32	41	35	35	3	211	

研究の概要

1 研究主題

主体的に活動し、自ら学び続ける子どもを育てる指導
～生きる力につながる学習を目指して～

算数科研究主題「確かな学力を向上させるための指導方法の工夫」

2 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年 ・算数（以前よりTT加配を受けて算数科を中心として実践を進めてきているが、子どもの理解度に差が見られる教科であるため）

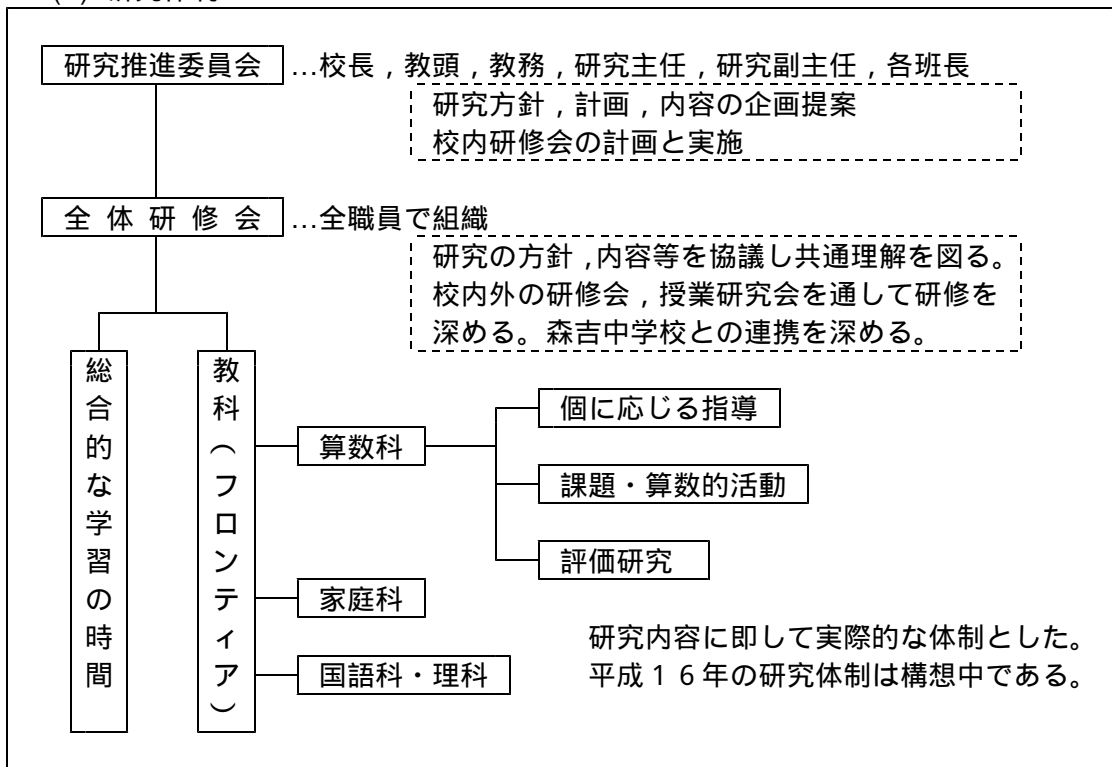
(2) 年次ごとの計画

平成 14 年 度	<p>テーマ「確かな学力を向上させるための指導方法の工夫」</p> <p>仮説</p> <p>TTや少人数による指導などの指導形態を工夫することによって、一人一人の特性や考え方にきめ細かく対応し、基礎・基本の定着を図ることができるであろう。</p> <p>発展的な学習や補充的な学習のための教材を工夫し実践することによって、個に応じた確かな学力を付けることができるであろう。</p> <p>学習の過程を重視し、様々な場面での評価を工夫することによって、より積極的な支援を行うことができ、一人一人の学力向上が期待できるであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p>個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫</p> <p>単元構成の工夫</p> <p>指導過程の工夫</p> <p>指導形態・学習形態の工夫</p> <p>発展的な学習や補充的な学習などの教材・環境作り</p> <p>発展的な学習や補充的な学習の位置付けと教材の作成</p> <p>個に応じた指導のための環境整備</p> <p>児童の学力の確実な把握と、その評価を生かした指導</p> <p>評価規準と支援の手だてを明記した年間指導評価計画の作成</p> <p>レディネスや学習状況、診断的評価を指導に生かす支援表の活用</p>
	平成 15 年 度

	<p>ぶことの楽しさに気付かせ、自ら考え、自ら課題を解決する力を育てることができよう。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年次の研究の検証・修正と実践 ・個に応じた支援と問題解決的な学習の実践 ・年間指導評価計画と評価規準の見直しと効果的な評価への取り組み ・研究過程の公開（10月3日実施） <p>森吉中学校との連携の強化</p> <p>2年間の成果・課題の検証と次年度の構想</p> <p>14年度の成果と課題を受けて、「よりよい子どもの姿を目指した授業改善」のために仮説及び研究内容の手直しを行った。</p>
--	---

平成16年度	<p>テーマ「確かな学力を向上させるための指導方法の工夫」(仮)</p> <p>仮説(仮)</p> <p>指導形態・学習形態や評価の在り方を工夫し、個に応じた学習を進めることによって、一人一人の考え方や学習状況にきめ細かく対応することができ、確かな学力を付けることができよう。</p> <p>問題解決的な学習過程を重視し、自力解決を促すための課題の提示や、算数的活動を工夫して子ども主体の授業を創っていくことで、算数のよさや学ぶことの楽しさに気付かせ、自ら考え、自ら課題を解決する力を育てることができよう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p>研究の成果を生かした他教科への普及（国語科・理科での実践）</p> <p>本実践研究の成果・課題の検証と今後の取り組みへの見通し、計画3年間の研究のまとめの作成と公開（11月11日予定）</p>
--------	---

(3) 研究体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 研究成果

目指す子どもの姿にかかわって

- ・指導形態，学習形態，教材・教具の工夫等により，個の実態に応じた内容や方法で学習を進めることができ，基礎学力の向上及び学習への集中力や意欲の高まりが見られた。また，少人数指導により評価まで一人一人にきめ細かく対応できることによって，子どもの自己評価の能力が育ち，適切なコース選択ができるようになってきている。
- ・課題や算数的な活動を工夫して子ども主体の学習を創る取り組みを強化し，ねらいや学習内容に応じた指導形態や学習形態を取り入れたことで，高位児に限らず，すべての子どもが主体的に自力解決する場面や算数のよさを感得する姿が見られた。
- ・発展的な学習や補充的な学習を単元や単位時間に位置付けることで，進んで自分に合う課題を見付け，自分なりに問題を解決しようと取り組むようになった。

- 県学習状況調査結果より -

算数科...新出問題の結果を抽出すると，4年 +3.9%，5年 +1.4%，6年 +12.1%といずれの学年においても通過率の全県平均を上回る結果となった。特に，好結果であった6年生においては昨年度から行っているコース別・習熟度別学習によって，知識や表現技能の習熟が十分に図られていた成果と考えられる。

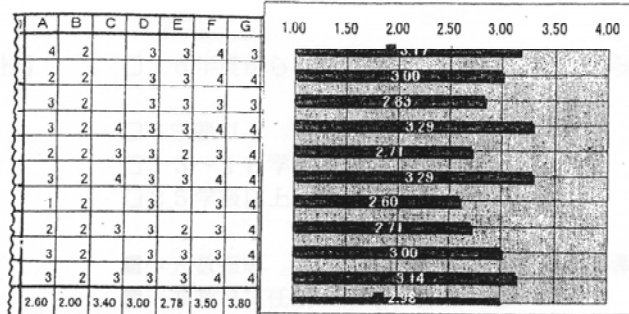
意 欲...「勉強が好き，よく分かる，大切」，「分からないことでも自分の力で答を見つけられるように，生活や社会に出て役立つように勉強したい」等が全県平均を上回った。特に5年生においては，「勉強が好き」が+13.8%，「算数が好き」が+15.6%と全県平均を大きく上回った。算数のよさや自力解決の充実感を感得させる取り組みの成果ではないかと考えている。

指導者の変容

- ・TTで教材の研究や単元の構想を立てていくことで，教材研究に深まりが見られ，1時間1時間の授業改善につながった。
- ・平成14年度，15年度共に各学年2回の授業研究会及び，年1回の授業を見合う会を行い，評価表【資料】を活用して授業改善に関わる相互評価を続けた。それにより，個々の授業についての課題のみならず，本校の全体的な課題も明らかにすることができた。さらに，一人一人の教師が授業を見る観点をしっかりもつことができるようになり，それが，ねらいの明確化，指導過程・評価の工夫など子ども主体の授業を構築する際の意識や力の向上に結び付いている。

【資料】

授業参観 評価表		平成15年9月19日 校時	(場所) 年教室、第 OR
年A組 (指導者名)	評 価 項 目	(教科・領域、単元名)算数 わり算	
		評価平均	
1	ねらいは子供たちの実態が把握され、課題(めあて)や問題は適切で、子ども自身が把握して授業に臨んだか。	3.17	
2	単元や本時の流れは問題解決的な学習、体験的な学習ができるものであったか。	3.00	
3	単元や本時の中で手順を踏んだ評価がなされ、支援に生かされていたか。	2.83	
4	指示・発問の内容や量は適切で、子どもたちの声や活動で授業が構築されたか。	3.29	
5	指導形態・学習形態の工夫による個への支援は適切で、個々の理解が深まったり、習熟が図られたりしたか。	2.71	
6	子どもたちは、自分の思考や理解の程度を意識しながら、主体的に授業に臨んでいたか。	3.29	
7	板書は、授業全体の流れを振り返ることができるものであったか。	2.60	
8	発達段階に応じた基本的な学習習慣や授業中の約束など、学習を進めるための訓練はなされていたか。	2.71	
9	与えた教材・教具や掲示物等の物的環境は、子供の思考や活動を有効に支援したか。	3.00	
10	単元や1時間のねらいは、達成されたか。	3.14	



各項目を <4(大変よい), 3(よい), 2(やや改善が必要), 1点(改善が必要)> で評価する。

2 今後の課題

目指す子どもの姿に向けて

- ・子どもがさらに主体的に取り組み，学んだことを生活に生かそうと思えるような課題の工夫
- ・よりよい学習を求めようとするような振り返り・評価の工夫
- ・解決したことをもとに，補足的・発展的に取り組める個に合った教材の工夫
- 指導者の変容のために
 - ・時間内の定着度の把握と，学び直し・定着・発展を図る取り組み
 - ・時間内に終わる問題解決的な学習のための，学習内容の吟味と学習過程の工夫
 - ・個々の学力を向上させるための効果的なコース設定と自己選択への支援
 - ・簡単でより信頼性の高い評価への取り組みと蓄積
 - ・他教科での実践

学力把握のための学校の取り組みについて

- ・秋田県学習状況調査（4～6年 7月）
- ・CRT学力調査の実施と分析（全学年 2月）
...今年度の指導の結果としてとらえ，落ちている内容を補充し，次年度の指導に生かす。
- ・大館北秋地区算数テスト（5・6年 12月）
...数学的な考え方の実態を把握し，指導の方向性を探る。
- ・能代山本地区算数テスト（全学年 1～2月）
...他地区と比較し，落ちている内容を補充指導する。
- ・全校テスト（全学年 5・6・9・11月）...結果分析を，補充指導に生かす。
- ・児童の学習に対するアンケート調査（全学年 5月・12月）
...学習・教科・指導形態等に関する意識及び希望を把握し，取り組みに生かす。

フロンティアスクールとしての成果の普及について

平成15年度

指定訪問研究会を町内小・中学校に案内

10月3日（金） フロンティアスクール中間自主公開研究会実施（算数）

- ・案内の対象は郡市内各小学校，阿仁部中学校及び県内フロンティアスクール指定小学校

平成16年度予定

指定訪問研究会を町内小・中学校に案内

11月11日（木） フロンティアスクール公開研究会（国語・算数）

- ・案内の対象は県内各小学校，郡市中学校及び県内フロンティアスクール中学校

【新規校・継続校】	1 5 年度からの新規校	1 4 年度からの継続校
【学校規模】	6 学級以下 1 3 ~ 1 8 学級 2 5 学級以上	7 ~ 1 2 学級 1 9 ~ 2 4 学級
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T . T による指導 その他
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有 無